

# 一人の手



市議会議員  
佐藤ひろゆき

## 平成30年度以降を 見据えた持続可能な 私の政策

第84号	
発行日	平成二十九年九月十五日
発行者	佐藤ひろゆき
住所	〒997-0025 鶴岡市田中一丁目七・六
電話	0235-26-1411
FAX	0235-26-1411
新政クラブ	

1. 生き生きと暮らせる健康長寿のまちづくりを推進します

住民主体の介護予防の充実と生きがいづくり、国立がん研究センターとの共同研究によりがんの診断薬や解析技術等の開発を進め、健康長寿のまちづくりを推進します。  
地域でお互いが支えあい、共に生きる「地域共生社会」をつくりま

1. 子育てとスポーツ環境の充実を図ります

サイエンスパークに計画している屋内型遊戯施設の建設を推進し、鶴岡の子どもが負担なく、天候にかかわらず元気に遊べる環境をつくりま

1. バイオ研究を市民の健康づくりと雇用増につなげます

国立がん研究センターと行うがんの研究やバイオベンチャー企業の研究を市民の健康づくりとバイオ産業振興による雇用の増加につなげます。  
例えば、HMTのうつ病の検査、メトセラの心臓細胞再生医療、サリバテックの唾液によるがん検査、メタジェンの腸内細菌検査等に市民参加し、鶴岡での雇用を増やします。



1. 若者が鶴岡に帰って来られる環境を整備します

バイオ産業を核に企業集積による雇用の創出と商工業の振興を図るとともに、効果的プロモーションによる地元企業の情報提供、発信を強化し、若者の地元定着とUターンを促進します。又、地元就職の際の奨学金返済の支援制度を創設します。

1. “人が輝く元気な地域” “コミュニティ”を目指します

地域の多様な主体の参画・連携を積極的に促進して、地域自らが地域の課題を発見・認識・共有し、解決していく力の活性化を図るため、地域住民と連携し、「地域ビジョン」の着実な取組みを推進します。



1. 荘内病院の運営に市民の声を活かし、安心医療の拠点とします

荘内病院への市民の声の反映を目的に、「市民モニター制度」などを導入し、市民が安心して医療サービスを提供を受けられるようにします。「治す」医療から、在宅医療を中心とした人生を「支える」医療体制をつくりま

1. 新文化会館を最大限活用し、芸術文化の拠点とします

新文化会館を最大限活用し、芸術文化の拠点として多様な芸術文化に触れる機会と発表する機会、自由に交流・活動できる場を提供する。

市民が豊かな心と創造性を育むための「鶴岡市芸術文化振興基本計画」を策定します。また、若者が建築デザインを学ぶ機会を増やします。

1. 地域公共交通網の見直しと高齢者や運転免許証返納者への支援を行います

地域住民の意向をもとに地域公共交通網を見直し、通院、通学や買い物足を確保するとともに、高齢者や運転免許証返納者に割引定期券購入の助成拡充を図ります。

# 私のこの4年間の実績

苗津町3番地内側溝改修工事完成

日出二丁目荒田公園に簡易トイレ設置

朝陽第二小学校障害者用駐車場青色塗装

日出二丁目地内道路冠水防止工事

七日町通り道路改修工事調査

第二学区コミセン北側側溝グレーチング工事

新文化会館バリアフリー対応の要望実現  
(段差のない回廊、車いす席8席、重度障害者用トイレ  
難視聴者支援設備、障害児用多目的鑑賞室、託児室等)

羽黒町西荒川地内旧防火用水埋め立て

美原町地内音声式交通信号機取付け

視覚障害者用「声の広報」CD化

地域包括支援センター体制充実強化

# 佐藤ひろゆき



H29年3月  
美原町地内  
音声式交通信号機取付け



H28年6月 羽黒町西荒川地内旧防火用水埋め立て前 ⇒ H28年11月 埋め立て後



H29年9月  
第二学区コミセン北側側溝グレーチング完成



H29年6月 日出二丁目地内道路冠水防止工事完成



早期の道路改修が待たれる七日町通り



新文化会館バリアフリー対応